

《産業振興マスタープラン後期計画策定の目的》

- 日本経済は、新たな成長戦略の取組みにより、緩やかな景気回復の動きが見られる一方で、市内中小事業者においては、厳しい経済情勢が続いており、持続的な成長が求められる。
- 宅地化の進行や情報技術の発展に伴う産業構造の変化などから、工場の移転や規模の縮小、個人商店の廃業や商店会の解散など、市内産業を巡る課題も多く抱えている。

これら市内産業を取り巻く環境や産業振興マスタープラン中期計画の成果の検証等を踏まえつつ、市民、商工業者等のニーズを的確に把握し、市内産業の活性化を図ることを目的に本計画を策定する。

《計画の位置付けと関連計画等との関係》

- 平成30年度に策定される「西東京市第2次基本計画」における産業分野の見直しと連動
- 平成30年度に見直される「第2次西東京市農業振興計画」の内容との連動
- 「西東京市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略」の内容を包含
- 国や東京都の各計画の視点の取入れ

《計画期間》

- 計画全体の期間は、平成23(2011)年度から平成35(2023)年度までの13年間
- 後期計画は、平成31(2019)年度から平成35(2023)年度までの5年間の個別事業を検証し、新たな事業の選定を行う。

統計データの整理、ヒアリング調査(市内企業、事業者、大学、起業・創業者)の結果を踏まえて整理 ※商店会のヒアリングは、平成29年度実施済み。

《西東京市の産業の現状と課題》

産業振興マスタープラン中期計画における現状と課題

<p><b>(1) 「農業分野」の現状と課題</b></p> <p>① 「農地の保全と活用」 ・相続等により、農地の減少が進行。</p> <p>② 「農業を通じた交流」 ・めぐみちゃんメニュー、マルシェ等の実施。</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>①市民への農地の多面的な機能への理解等、全体的な農地保全への動機付けが必要</p> <p>②体験イベントの充実による生産者と市民との接点づくり、本市の農業・農産物への理解増進・PRが必要</p>
<p><b>(2) 「ものづくり」分野の現状と課題</b></p> <p>① 「営業力が高まり、活躍し続けられる」 ・産業ニュースの発行開始。</p> <p>② 「新規事業展開・新分野開拓が進む」 ・創業サポート施設(2箇所)の開設。</p> <p>③ 「事業者が次々と生まれる」 ・創業支援・ハンサムママ事業の充実。</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>①事業者のPR方法及び事業者間マッチング事業の新たな展開が必要</p> <p>②起業・創業者の増加に備えた、市内空き店舗活用事業の構築が必要</p> <p>③ハンサムママ・プロジェクトの継続及び若者・シニア創業者への支援拡充が必要</p>
<p><b>(3) 「商業・サービス」分野の現状と課題</b></p> <p>① 「地元の購買力を着実に取り込む」 ・一店逸品事業の推進</p> <p>② 「商業・サービス業の担い手が育つ」 ・創業支援・経営革新相談センターの運営</p> <p>③ 「地域資源がめぐり、地域を活発にする」 ・まち歩き観光の実施</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>①若手事業者のアイデアを取り入れた事業の展開及び情報発信の充実が必要</p> <p>②相談・アドバイス体制の見直し及びニーズに合ったセミナー等の企画・実施が必要</p> <p>③多摩北部広域行政圏の連携継続について新たな企画の検討が必要</p>
<p><b>(4) 「商店街」分野の現状と課題</b></p> <p>① 「5駅の特徴を活かし、相当規模の魅力ある商店街づくり」 ・駅周辺エリアを活用した各種イベント実施</p> <p>② 「コミュニティを担い、地域の生活基盤となる商店街が息づく」 ・夏祭り等による地域住民との交流</p> <p>③ 「商店街が活発に活動する」 ・イルミネーション事業等は増加するも解散が続く</p>	<p><b>【課題】</b></p> <p>①空き店舗の積極的な活用を促進するための施策の検討が必要</p> <p>②日常の買回り品(生鮮4品)や買物支援の検討による地域住民とのさらなる接点が必要</p> <p>③防災・防犯など、商店街の多面的な機能を活かした新たな取り組みが必要</p>

市内事業者等に確認すべき事項

- (1) 「農業」分野に対する意識**
- 農地の所有に向けた意向
  - 生産緑地を維持するための意向
  - 市内産農産物の購入先への意向
- (2) 「ものづくり」分野に対する意識**
- 大手事業者との連携に向けた意向
  - ビジネスマッチングの効果的な取り組みに向けた意向
- (3) 「商業・サービス」分野に対する意識**
- 一店逸品事業のブランド化推進に向けた意向
  - めぐみちゃんメニュー事業の推進に向けた意向
- (4) 「商店街」分野に対する意識**
- 平成29年度実施、商店街活性化支援調査委託報告書を活用
- (5) 「その他」関係機関に対する意識**
- 大学機関との連携に向けた意向
  - 創業支援・ハンサムママプロジェクト参加者に対する事業推進に向けた意向
  - 広域観光事業の推進に向けた意向

《これまでの施策推進》

- 西東京市商工業振興基本条例(平成18(2006)年3月)
  - 西東京市産業振興マスタープラン アクションプラン(平成23(2011)年3月)
  - 西東京市産業振興マスタープラン 中期計画(平成26(2014)年3月)
  - 西東京市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略(平成28(2016)年3月)
- ⇒①めぐみちゃんメニュー及びマルシェの推進、②産公金連携による取組推進、③創業サポート施設の開設、④商店会との連携強化  
⑤ハンサムママ・プロジェクトの推進

現計画等の検証と調査による庁内分析

《西東京市の産業の目指す方向》

将来像

地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が育ち  
・育てるまち西東京

期待する効果

- ① 『業』として収益を上げ、市の財政に貢献するとともに、雇用を生むという効果
- ② 産業の『多面的な役割』を活かして、市民生活の安心を支えるという効果
- ③ 『地域の顔・イメージ』をつくり、地域の価値や市民の愛着を高めるという効果

『「健康」応援都市の実現』  
～産業の活性化により、まちの活気を高める～

《 中期計画 施策体系図 》

● : 総合計画事業に位置付け

分野	大項目	中項目	中期計画（実行プログラム）
農業	1. 農地の保全と活用	(1) 多面的機能の発揮	● 花摘みの丘の活用 ● 農のアトリエ「蔵の里」の活用 ● 災害協力農地の拡大
			2. 農業を通じた交流
	(2) 農商工・産学公連携の推進	● めぐみちゃんメニューの推進 ● 地域や商店街との連携 ● 東大生態調和農学機構との連携	
	(3) 市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進	● 市民農園の新しい展開 ● 農業体験農園の推進	
	1. 営業力が高まり、活躍し続けられる	(1) 独自技術を活かした営業展開の強化	
		(2) 事業者間の連携強化・協働の促進	● 同業種・異業種交流会の実施 ● 産業ニュース等の発行
(3) 事業継続への環境づくり		● 産業ニュース等の発行（再掲） ● 融資あっせん制度の実施	
2. 新規事業展開・新分野開拓が進む	(1) 産学公連携の取組みの推進	● 産学公金連携事業の検討	
	(2) ソフトなものづくり産業の展開	● (仮称) SOHO 施設整備促進の支援	
	(3) 地元農産物の積極的な利用	● めぐみちゃんメニューの推進（再掲）	
3. 事業所（企業）が次々と生まれる	(1) 起業家支援の推進	● 創業に関する相談・助言の実施 ● 創業資金融資あっせん制度の実施 ● チャレンジショップ事業の実施	
	(2) ものづくり事業所（企業）の誘致	● (仮称) SOHO 施設整備促進の支援（再掲） ● 新分野の融資あっせん制度の検討	

分野	大項目	中項目	中期計画（実行プログラム）
商業・サービス	1. 地元の購買力を着実に取り込む	(1) 地元ならではの魅力の向上	● 商業便利度向上事業の実施と結果の活用 ● 一店逸品事業の推進 ● 一店逸品事業の新たな展開
		(2) 購入方法の多様化への対応	● 買物支援の調査・研究
	2. 商業・サービス業の担い手が育つ	(1) 個店の経営力の向上	● 経営（営業）力の強化に向けた各種セミナーの実施（再掲）
		(2) 新たな担い手・人材の育成	● 人材育成に向けた各種セミナーの実施 ● 創業に関する相談・助言の実施（再掲） ● 創業資金融資あっせん制度の実施（再掲） ● チャレンジショップ事業の実施（再掲）
	3. 地域資源がめぐり、地域を活発にする	(1) 地域内の連携・循環の仕組みづくり	● めぐみちゃんメニューの推進（再掲） ● 観光に関する近隣市との調査・研究
		1. 5 駅の特徴を活かし、相当規模の魅力ある商店街づくり	(1) 地域の特徴を活かした西東京市の顔となる商店街づくり
(2) 戦略的な空き店舗の活用	● 空き店舗情報のマッチング		
(3) 一部買い回り品を含む商店街の活性化	● 買物支援の調査・研究（再掲）		
(4) 地域のひとを活かした商店街づくり	● 地域連携型イベントの実施（再掲）		
2. コミュニティを担い、地域の生活基盤となる商店街が息づく	(1) 魅力ある店舗構成・コミュニティ機能を持つ商店街づくり		● 生鮮 4 品の整備支援についての調査・研究 ● 空き店舗活用の支援の検討 ● 空き店舗情報のマッチング（再掲） ● 被災地支援物産展の実施
	(2) まちおこしのための商店街と地域住民の交流促進	● 地域連携型イベントの実施（再掲）	
	3. 商店街が活発に活動する	(1) 商店街組織の強化	● 商店街組織の強化に向けた支援 ● 人材育成に向けた各種セミナーの実施（再掲） ● 商店会連絡会議の開催
(2) 意欲に応じた支援の強化		● 企画提案型イベントの実施 ● 被災地支援物産展の実施（再掲）	
(3) 安心して買物ができる商店街づくり		● 街路灯の LED 化に向けた支援の検討	

ものづくり

商店街